－所蔵作品紹介－

高橋　昭五郎　TAKAHASHI Shōgorō

双水

そうすい

作品データはこちら

高橋昭五郎は室蘭市生まれで、北海道学芸大学旭川分校（現在の北海道教育大学旭川校）を卒業し、室蘭で教員を勤めながら、道展、自由美術展の会員として長く活動してきた。また、「北海道現代美術展」「北海道の美術」展（いずれも北海道立近代美術館）や「北の彫刻展」（札幌彫刻美術館）などの企画展に出品してきた。彫刻はほとんど独学で、初期は石膏などで制作していたが、まもなく木彫に転じ、北方の風土性を感じさせる抽象彫刻を発表し続けている。

この作品は、1985年の自由美術賞を受けた作品で、翌年の現代美術選抜展（文化庁主催）に出品された。二分する柱状の垂直形を一本の大きな桂材から彫り出し、吹き上る二柱の噴水のような上昇と下降のエネルギーを持つ安定した造形が試みられている。作者は無駄のない形、切れ味のある造形を追求したいという意味のことを言っているが、その直線的な面取りが効果を発揮した作者の代表作といえよう。

「北海道立旭川美術館コレクション選集1982-1997」（1998年３月発行）より